

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック

2011年6月30日 No. 51
発行担当 ヘルスコープおおさか・市川
みやぎ県南医療生協 槻木事務所
連絡先:090-6056-8275

**被災した家を復興させたい！！ずっと住み続けたい。
この想いに応えよう！！**

本日は、線路は津波で流され駅舎だけが残ったJR常磐線山下駅の近くに住むIさんのお宅を訪問、ここは、いまだに水はおろか電気も通じていません。Iさんは当初、ここに住むことをあきらめかけていましたが、息子さんの「再興できる！再興したい！！」という声で、「やるぞ！」という気持ちに変わったといいます。地元に住んでいる方にとっては、生まれ育ったまちであり、ずっと住み続けたいまちであることに変わりません。今回の震災で地盤沈下が起こり、もう集落全体が無くなってしまい、住めなくなってしまった地区もあります。ここに住んでいる人は、復興しようという気運が高まっています。7月2日（土）には、ここにボランティアが入り、まずは泥出しからはじめます。復興に向けて、一緒に頑張りましょうと約束しあいました。



Iさんの家族が使用していたキャンピングカー



Iさんとの打ち合わせ

「水は復旧したけど、臭くて飲めない！」

の声に応じて、配ったら、とても喜ばれました！



山下駅の線路の西側の花釜地区のYさん宅を訪問すると、「水に困っている。水は出るようになったのに、臭いのでとても飲めない。沸騰させても臭いが気になる」という声に応じて、本日、Yさん宅に水（ペットボトルで10本程度）を持って行くと、非常に喜ばれました。同じく近隣の今まで支援に入ったお宅にも持って配ると、同様にすごく喜ばれています。

つきのき

槻木ボランティアセンターへの現地スタッフ派遣を！引き続きの支援体制を 全国のみなさん、よろしくお願ひします！！